

令和6年8月27日
三郷市
東日本高速道路株式会社関東支社

E6 常磐自動車道『三郷料金所スマートインターチェンジ』 東京方面出入口の開通見通しについて

埼玉県三郷市とNEXCO東日本 関東支社(埼玉県さいたま市)が整備を進めてきた、**E6** 常磐自動車道(以下「常磐道」)三郷料金所スマートインターチェンジ(以下「スマートIC」)の東京方面への入口及び東京方面からの出口については、現在の工事進捗を踏まえ、令和6年度内に開通できる見通しとなりました。

三郷料金所スマートICは、東京方面への入口及び東京方面からの出口開通により、現在供用している、「上り線出口(水戸方面からの出口)」、「下り線入口(水戸方面への入口)」に、「上り線入口(東京方面への入口)」、「下り線出口(東京方面からの出口)」を加えた4方向にアクセスが可能なスマートICとなります。

1. 開通見通し 令和6年度内

2. 三郷料金所スマートICの概要

- ・設置箇所 位置: 常磐道 三郷料金所(三郷JCT～流山IC間)に接続
所在地: 埼玉県三郷市小谷堀地内
- ・運用時間 24時間利用可能
- ・利用形態 一旦停止型
- ・対象車種 ETC車載器を搭載した全車種

3. その他

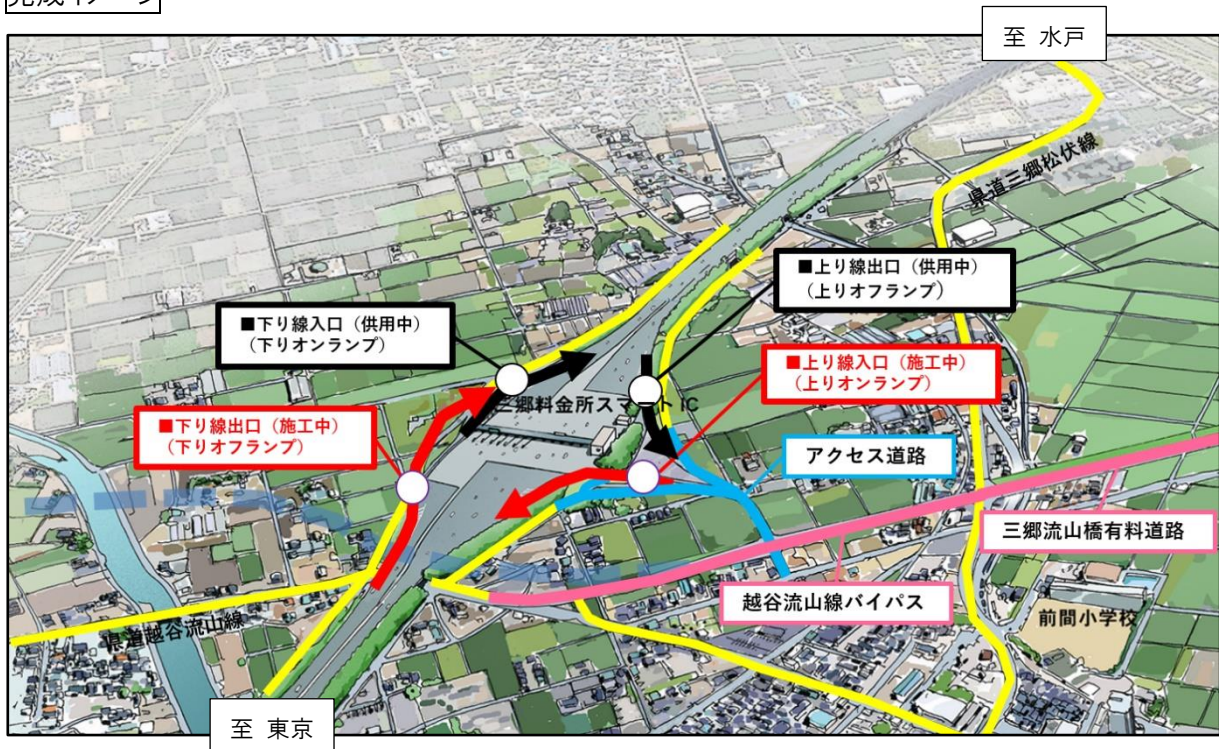
- ・期待される整備効果については、「別紙1」をご覧ください。

位置図



地理院地図(国土地理院)(<https://maps.gsi.go.jp/>)をもとに、東日本高速道路株が加工

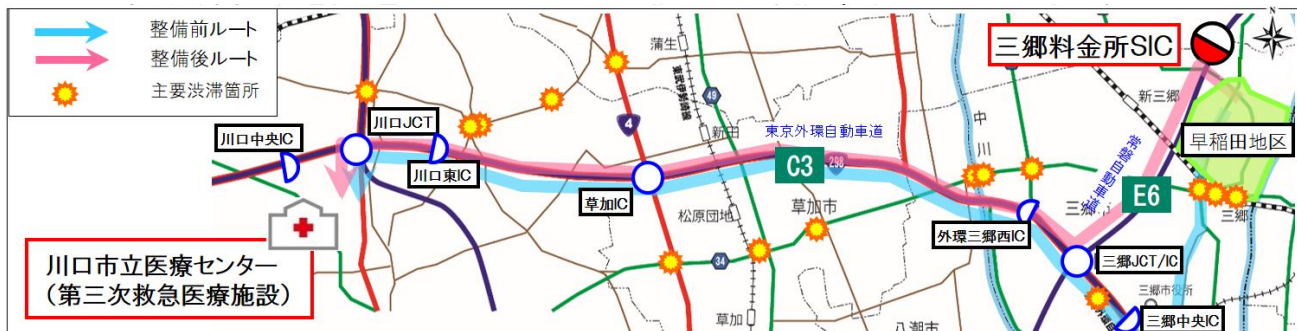
完成イメージ



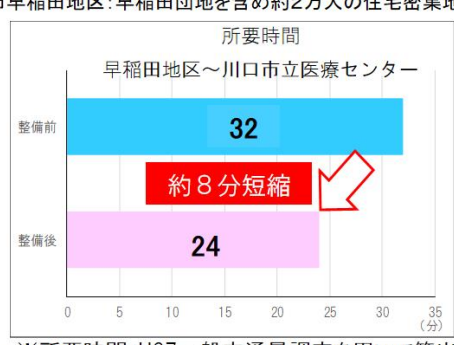
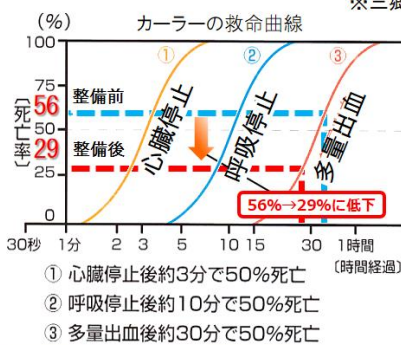
期待される整備効果

① 高度医療施設へのアクセス向上による救命率の向上

三郷市早稲田地区※から第三次救急医療施設である「川口市立医療センター」まで一般道の主要渋滞箇所を回避したアクセスが可能となり、救命率の向上に寄与。



※三郷市早稲田地区：早稲田団地を含め約2万人の住宅密集地



② 周辺開発・地域産業の育成と活性化

三郷市内は、地理的優位性から企業の立地需要は高く、運輸業だけで9年間に53件が増加。また、三郷市及び吉川市はスマートIC周辺エリアを産業系ゾーンに設定し、新たな産業基盤づくりを計画している。スマートICの整備により、企業誘致の促進や地域活性化が期待される。



開発箇所	状況	規模
メディセオ	供用	4.1ha
三郷北部地区	事業中	23.1ha
三郷インター南部・南部南	供用	52.3ha
産業拠点	構想中	
産業系まちづくり地区	構想中	

